

## マニラ首都圏地域の高架鉄道 LRT 2 号線に、5G 携帯電話の基地局など通信設備を設置することで鉄道公団と合意

InfiniVAN, Inc. (以下 InfiniVAN 社) は、郊外と都心部を結ぶ高架鉄道 LRT 2 号線の鉄道設備に、5G 携帯電話の基地局など多様な通信設備を設置することを計画

### 1. 合意内容について

2019年7月5日、当社子会社 InfiniVAN 社は、フィリピン共和国運輸省傘下の、LRTA (Light Railway Transit Authority) との間で、高架鉄道 LRT2 号線 (注 1) の鉄道設備に、マイクロセル (携帯電話基地局) 等の設備を設置する契約 (RIGHT TO ATTACH LEASE AGREEMENT FOR THE INSTALLATION OF MICROCELL SITES AND ANTENNAS AT LRT LINE 2 SYSTEM) を締結いたしました。



LRTA 公団総裁 Reynaldo I. Berroya(左から 2 番目)と InfiniVAN 社 社長 Enrique G.Yu(中央)

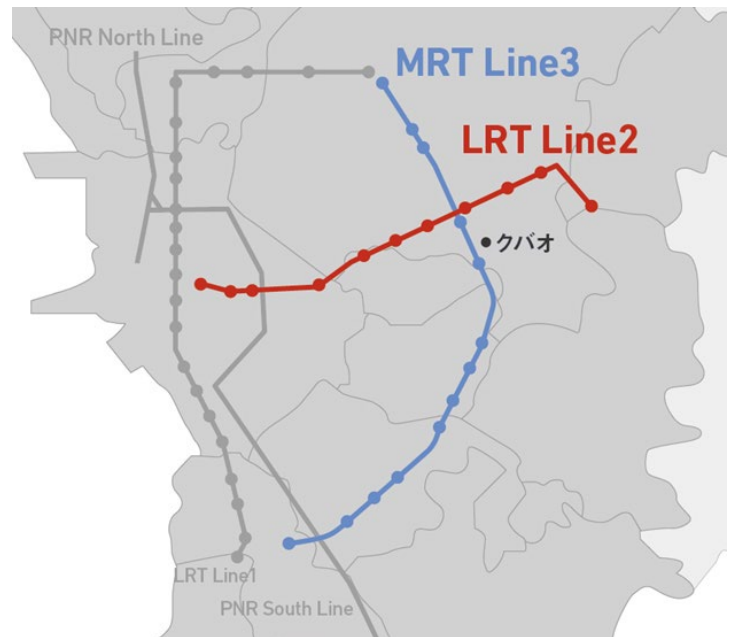
## 2. LATA との以前の合意

2018年9月、当社子会社 InfiniVAN 社は、通信回線設備を設置する目的で LRTA との間で、高架鉄道 LRT2 号線の線路設備使用契約を締結いたしました。

そして、2018年12月に LRT2 号線全区間に、InfiniVAN 社ほか、最大7事業者が光ファイバー回線を敷設できるダクトが完成いたしました。

現在大手 CATV 通信事業者に対して光ファイバーの長期リースを供用しております。

またマカティ以外の地域に、法人向けブロードバンドサービスを拡大するときに、この LRT2 号線の光ファイバーが必要となります。

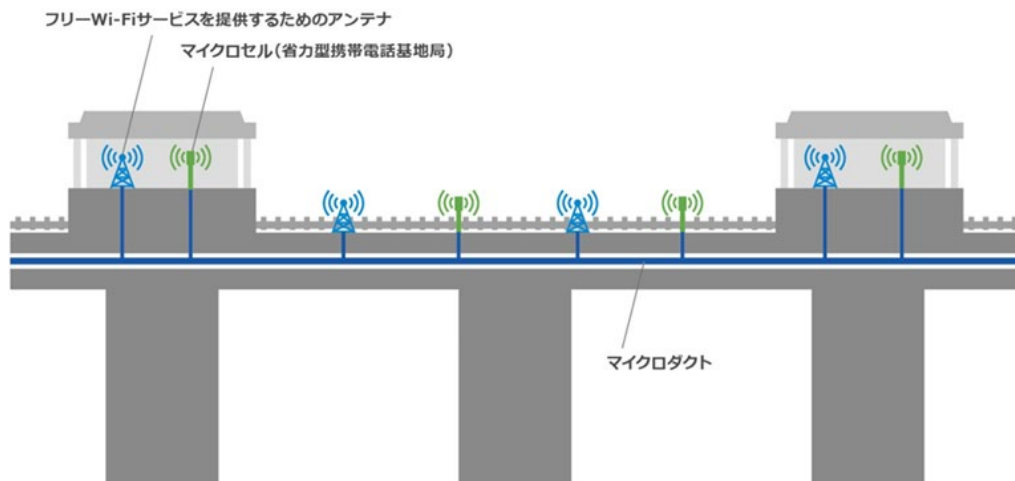


## 3. 今回の合意の意義

今回の契約では、上記2の合意では含まれていませんでした、携帯電話の基地局（マイクロセル）を設置する権利とアンテナを設置する権利を、光ファイバー敷設の権利とは別に、取得しております。

2019年6月19日に PR で発表いたしました、MRT3 号線を対象とした契約で含まれていたマイクロセルを設置する権利等と同様の権利を、今回取得しております。（図1参照）

図1 高架鉄道の活用イメージ



高架鉄道に光ファイバーを敷設して、等間隔で駅や線路に携帯電話の基地局を設置することで、乗客だけでなく、沿線の住民などへも電波を効率的に届けることができるようになります。

またフィリピンでは、これまで通信事業者は、競合意識などにより、競合する事業者と通信設備を共用することは、都心部の地下共同溝に例があるぐらいで、ほとんどありませんでした。

しかし InfiniVAN 社は、大手 2 社、中国系の事業者のいずれの傘下にも入っておらず、また携帯電話事業をおこなっていないので、どの事業者とも等距離の関係にあります。

特に競合関係にあり、新規の取引を行ってこなかった通信事業者とも、先月 8 年ぶりに取引を再開しており、相互に事業の提案をすることが可能になっております。

そのため InfiniVAN 社を通じて LRT2 号線の設備を利用することで、無用な投資を避けるよう各社に提案を行っております。

既に 4G を設置する案件と 5G を設置する案件を、それぞれ携帯電話事業者から打診を受けており、折衝を行っております。

また InfiniVAN 社は、先月割当を受けた周波数を用いたサービスの実証実験にあたり、通信設備の設置や試験を通してこの鉄道設備を活用する計画です。

マニラ首都圏地域内での通信機器設置の需要は、① 5G 基地局の設置需要、② 5G の普及に伴う光ファイバーの需要増加で、大きく拡大していくと考えております。

今後も通信事業者のニーズに応える通信設備を敷設する場所を、鉄道会社と協業して開発する計画です。

以上

注1) LRT 2 号線とは、Manila Light Rail Transit System Line 2 のことで、同様の鉄道が 3 路線あるうちの、2 号線となります。

2003 年に丸紅、東芝などによる国際コンソーシアムが受注。建設資金は、日本の円借款によって賄われております。なおこの路線は、Pasig 市の Santolan 駅と Manila 市 Recto を結び、11 駅からなり、距離は 13.8Km あります。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口

IR 室 03-3549-7719 ir@ipsism.co.jp